

はにい 学び続ける

平成29年11月24日

7月1日（土）大学の講義室の一室。
県内各地から集まった24人の先生たちが緊張したようすで座っている。

「これより、平成29年度現職教員CST養成プログラム開講式を始めます」

CST（コア・サイエンス・ティーチャー）とは、授業を通して子どもたちに安全で楽しく理科の不思議さや面白さを伝える理科好きな先生のことだ。平成23年度に始まり、これまでに、160名ほどの小・中学校の先生が認定を受けて、自校をはじめ、地域の小・中学校の理科研修を行う等、理科授業のコアとして活躍している。



「本プログラムの受講を通じた、現職の先生方の出会いは、各地区や異校種をつなぐ貴重な機会であります。まずは本プログラムを十分に楽しむという気持ちで受講していただき、今以上に理科好きな教員になっていただくことを願っております」
先生たちの表情が少し和らいだ。

普段は教える側の先生たちだが、『危機管理特別実験演習』や『人間社会と科学』などのCSTをめざす大学院生向けの授業6科目16細目以上を履修し、3月のCST認定を目指して学んでいく。

「何年ぶりかの大学で授業を受けることにドキドキしています」
「先輩のCSTの活躍ぶりを見て、自分も受講してみたいと思いました」
「たくさん学んで、理科が好きな子どもを育てたいです」
受講者が一人ずつ抱負を述べる。

開講式に続き、講師が次々とこれから始まる授業の説明をする。
『生物実験中の事故と対策』になった。
「7月末にフィールドワークに出かけます。必ず帽子を被ってください。サンバイザーは帽子ではありません。肌を露出しない服装で参加してください。両手が空くようにリュックを持参してください。音の出る機器や電波を発する電子機器の使用を禁止します。準備不足の場合は実習への参加をお断りすることがあります」
受講者の背筋がスッと伸びた。

『はにい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合きましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp